

未来のごみ箱

夏休みエコ絵画コンクール



「エコ絵画って何?」「どうやって描いたらよいかわからない」「未来のごみ箱?」…そんな声にお答えします。さあエコ絵画にチャレンジしよう!

Q 夏休みエコ絵画コンクールってどんなコンクールですか?

A 身のまわりの環境や環境問題について学習し、考えてもらうコンクールです。環境について考えたこと、気づいたことなどを「未来のごみ箱」をテーマとした絵画にご応募ください。

Q どうして未来のごみ箱を描くのですか?

A みなさんの豊かな発想で千葉の自然を守っていききたいからです。千葉は自然の恵みを保ちつつ、世界中に工業製品を送り出す魅力的な県です。しかし資源は限りがあるものですから、むだづかいに注意したいですね。家庭や産業から出るごみを考えはじめると、資源の循環、新しい資源やごみを減らそうという答えに行きつくのではないのでしょうか。

Q どんな手順で絵画にしたらいいですか?

A まずは環境問題について考えよう!
①「ごみをどうしたい?」「未来ではこうなったらいいな」「こんなごみ箱があったら」を考え、
②イメージしたことをノートに絵や文字にして書き出してみてください。
③具体的に絵が描けてきたら、「何色を使うか」「自分のイメージが絵に表れているか」を考えましょう。

Q 裏面に貼る「作品のコメント」はどう書けばいいですか?

A あなたの描いた「未来のごみ箱」について説明してください。絵だけでなく、コメントもとても大切です。どういう思いでこの画を描いたのか。見るひとに伝えたいことを作品コメントにまとめましょう。

Q 今までどのような作品が受賞しましたか?

A 自然への思いやりがあふれたもの、ユニークな発想のもの、丹念に描かれている絵など多彩な作品が受賞しています。参考までに第12回の受賞作品を一部ご紹介します。



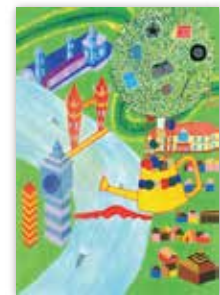
千葉県知事賞
「はいき物とはいきガスのリサイクルタワー」
船橋市立大穴北小学校(4年)
魚住 蒼生さん
はいき物とはいきガスがリサイクルタワーを通ると、きれいな物に変わる。そんな未来のごみ箱タワーがあったら良いなと思えがきました。



千葉県教育長賞 ●低学年
「木のかたちのうごくごみばこロボット」
アトリエこうたき(2年)
永田 花歩さん
このごみばこロボットはゴミをじぶんで分けて、びんかんは星になって、もえるゴミはトイレトーパーになって、なまゴミはひりょうになります。そんなゴミばこがあったらいいなと思ってかきました。



千葉県教育長賞 ●中学年
「やさしく光るよエコホタルブクロ」
千葉市立あすみが丘小学校(3年)
桑原 美桜さん
太陽の光、けむりやはい気ガス、雨水をねんりょうにしてゴミを分かかし、きれいな空気と光にかえてくれるエコホタルブクロです。みているとみんなの心もやさしい気持ちにしてくれます。

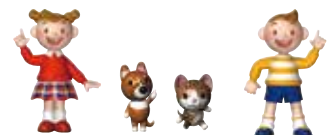


千葉県教育長賞 ●高学年
「幸せをはこぶ気球」
船橋市立習志野台第二小学校(6年)
内山 瑠菜さん
みんなが不要になったもの(ゴミ)を気球に乗せると、それが幸せパウダーになって、街中に降り注ぎます。

※過年度受賞作品、作品コメント、審査講評はコンクールホームページからご覧いただけます。

→ www.arax-g.jp

※受賞者の学校名・学年は受賞年度のものです。



● 指導に当たられる先生・保護者の方へ

夏休みエコ絵画コンクールは、千葉県が進める「総合的な環境学習の推進事業」に基づき、平成18年度より開催しています。子どもたちが“ごみ箱”の未来の姿を想像し、自由な視点と発想で描いてもらうことを通じて、自分たちを取り巻く環境の大切さを感じ、学び、考えるきっかけづくりになることを目的としています。

そのために、先生や保護者の皆さまにはご支援をお願いします。例えば低学年では、身のまわりの環境について学習し、「未来のごみ箱」についてアイデアや意見を出し合う時間を設けてみてはいかがでしょうか。

中・高学年では、清掃工場の施設見学と関連させるなどしてみてください。図工科だけでなく、社会科や道徳、家庭科や総合的な学習の時間で取り組む学校もあります。そのような機会に、ニュースに出てくる環境問題やキーワードについて、お話ししてみてください。教室やご家庭でのわずかな時間が豊かな想像力をつくり出すはずですよ。

応募規格は、だれでも取り組みやすい八つ切りサイズです。ポスターではなく未来画なので、「資源を大切に」などの文字で説明しないようにしましょう。画材もクレヨン、カラーペン、色鉛筆、絵の具など自由です。また、ご応募いただいた作品は、参加賞・努力賞とともに返却いたします。

ぜひ、夏休みエコ絵画コンクールを次代を担う子どもたちの環境学習にお役立てください。

● 「先生の声」

作品応募時にお寄せいただいた「先生の声」を一部抜粋し、ご紹介します。

子どもたちも作画の過程で、必然的にごみについて考えることになります。“ごみに関する環境問題”について、発達段階に応じた思考がなされることはとても意味があり、作画の際に交わされる家族の会話も環境問題を考える重要なきっかけになると思います。

児童がこのコンクールに参加することで、環境への意識が高まっていると感じます。学校では夏休みの図画工作の課題の一つとしていますが、今後は「社会科(4年生)」や「総合的な学習の時間」のまとめなどでも取り組むことで、児童の環境教育への意欲や関心を高める機会としたいと考えています。

夏休みの課題の一つにしていますが、9月の応募時には児童は自分以外の人の作品を見ていないので12月に作品が返却されたときに「未来のごみ箱」のアイデアや工夫を紹介しあうようにしています。自然環境やエコ、ゴミ問題等について、自分ごととしてとらえて関心を持って取り組んでいました。

テーマ 未来のごみ箱

● **応募資格** 千葉県内の小学校に通う小学1年生～6年生

● **応募規格** 八つ切り画用紙(27cm×38cm・縦横自由)
1人1作品のみ

● **募集期間** 2018年7月1日(日)～9月20日(木) ※必着

● **作品送付先**

〒262-0003 千葉県花見川区宇那谷町1501-2
(株)ベターサービス「エコ絵画コンクール」係

● **表彰式** 千葉県生涯学習センター ホール
2018年11月24日(土)

主催:千葉テレビ放送株式会社、一般財団法人千葉県環境財団 特別協賛:アラックスグループ

後援:環境省関東地方環境事務所/千葉県/千葉県教育委員会/各市町村教育委員会(千葉市、柏市、松戸市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市、茂原市、山武市、九十九里町、白子町、長生村、長南町、長柄町、睦沢町、一宮町、東金市、大網白里市、芝山町、横芝光町、勝浦市、いすみ市、布施学校組合、大多喜町、御宿町、木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町、香取市、多古町、神崎町、東庄町、銚子市、旭市、匝瑳市)/千葉県PTA連絡協議会/全国小中学校環境教育研究会/千葉県小学校長会/千葉市小学校長会

協賛:一般社団法人生命保険協会千葉県協会、一般社団法人千葉県産業資源循環協会、株式会社エジソン、関東リソース株式会社、京成電鉄株式会社、株式会社京葉銀行、コマツカスタマーサポート株式会社、株式会社JEMS、住友重機械エンバイロメント株式会社、株式会社竹中土木、株式会社千葉銀行、株式会社千葉興業銀行、塚本総業株式会社、株式会社テラモト、東京海上日動火災保険株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東葉高速鉄道株式会社、成田国際空港株式会社、株式会社ナリコー、株式会社西原屋、東日本旅客鉄道株式会社、ミサワホーム株式会社、ミサワホームイング株式会社、三井アウトレットパーク 木更津、三ツ星ベルト株式会社 (五十音順)

協力:NPO法人環境技術支援ネットワーク、一般社団法人千葉県経済協議会、一般財団法人千葉県公害防止協力財団

お問い合わせ

夏休みエコ絵画コンクール運営事務局

Tel. 043-242-6810 (平日10時～17時) 公式ホームページ www.arax-g.jp